



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月13日

上場会社名 エブレン株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6599 URL <https://ebrain.co.jp/>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 上村 正人
 問合せ先責任者（役職名） 取締役管理部長（氏名） 田中 猛 TEL 042-646-7171
 半期報告書提出予定日 2025年11月14日 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 有

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	1,937	0.3	237	26.3	253	33.7	170	36.7
2025年3月期中間期	1,930	△6.1	188	△34.5	189	△34.8	124	△35.2

（注）包括利益 2026年3月期中間期 147百万円（△9.5%） 2025年3月期中間期 163百万円（△20.7%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	112.89	—
2025年3月期中間期	82.59	—

（注）潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	5,907	4,873	82.5
2025年3月期	5,904	4,786	81.1

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 4,873百万円 2025年3月期 4,786百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	40.00	40.00
2026年3月期	—	0.00	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	—	—	48.00	48.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,100	1.8	520	11.9	520	9.4	340	8.5	225.32

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 — 社 (社名) 、除外 — 社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2026年3月期中間期	1,536,000株	2025年3月期	1,536,000株
2026年3月期中間期	27,053株	2025年3月期	27,053株
2026年3月期中間期	1,508,947株	2025年3月期中間期	1,508,947株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (中間期)

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等の注記)	9

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における世界経済は、主要国における景気支援策等により、全般に景気は緩やかな回復傾向にありました。一方、米国の関税政策の動向や、中国経済の低迷、ウクライナおよび中東情勢を背景とした地政学リスクが長期化する等、先行き不透明な状況が続いております。

我が国経済は、賃上げによる所得環境の改善やインバウンド需要の拡大等により、緩やかな回復基調となりました。しかしながら、物価上昇の長期化による消費者マインドの下振れや、米国の関税政策による影響への懸念やウクライナ・中東情勢等の地政学リスク等から、依然として先行き不透明な状況が続きました。

このような状況下、日本製半導体製造装置について、2025年9月24日にSEAJ(日本半導体製造装置協会)より、8月時点での販売高(3か月移動平均ベース)が、前年同月比15.6%増の4,057億6,400万円になったと発表されました。これはAIサーバー向け先端ロジック、HBM(広帯域メモリ)系の設備投資の伸長が影響しています。

当社グループの売上高につきましては、前中間連結会計期間と比較し通信・放送分野と防衛関連分野で新規案件の成約、交通関連分野で第1四半期からのシフトや下期からの納入前倒し要請により増加したものの、主力である計測・制御分野のEV関連への投資減少と電子応用分野の顧客在庫調整の影響により、売上高は微増に留まりました。

一方、利益面では値上げされた部材の売価への価格転嫁が進んだことで、営業利益率は前中間連結会計期間の9.8%から当中間連結会計期間は12.3%と2.5%改善しました。

また、為替相場の変動により前中間連結会計期間は為替差損6百万円を計上しましたが、当中間連結会計期間は為替差益3百万円に転じたため、経常利益が増加しました。

この結果、当中間連結会計期間における業績は、売上高1,937百万円(前年同期比0.3%増)、営業利益237百万円(前年同期比26.3%増)、経常利益253百万円(前年同期比33.7%増)、親会社株主に帰属する中間純利益は170百万円(前年同期比36.7%増)となりました。

当社グループは、産業用電子機器及び工業用コンピュータの設計・製造・販売を専業として行っており、セグメントは単一でありますので、セグメントごとに経営成績の状況は開示しておりませんが、営業品目の応用分野別売上の概況は、次のとおりであります。

通信・放送 [通信・放送・電力関連]

通信関連と放送関連は既存案件の生産終了や設備投資の減少があるものの、電力関連の新規案件の量産開始により、当中間連結会計期間の売上高は前年同期比34百万円(38.7%)増の124百万円となり、売上構成比率は前年同期の4.7%から6.4%となりました。

電子応用 [HPC(スーパーコンピュータ)・医療関連]

医療関連は市場のトレンドとしては堅調に推移していますが、顧客の在庫調整が継続し、当中間連結会計期間の売上高は前年同期比69百万円(32.8%)減の143百万円となり、売上構成比率は前年同期の11.0%から7.4%となりました。

計測・制御 [半導体製造装置・検査装置・FA関連]

半導体製造装置は主力機種での在庫調整の継続やEV関係への設備投資の減少により、当中間連結会計期間の売上高は前年同期比37百万円(3.2%)減の1,142百万円となり、売上構成比率は前年同期の61.1%から59.0%となりました。

交通関連 [鉄道・信号・ITS(高度道路交通システム、ETC等)関連]

鉄道信号関連は一部顧客の第1四半期からのシフトや下期からの納入前倒し要請により、当中間連結会計期間の売上高は前年同期比40百万円(11.9%)増の381百万円となり、売上構成比率は前年同期の17.6%から19.7%となりました。

防衛・その他 [防衛用のレーダー、通信関連]

防衛関連の新規案件の成約により、当中間連結会計期間の売上高は前年同期比38百万円(35.8%)増の146百万円となり、売上構成比率は前年同期の5.6%から7.5%となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当中間連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ2百万円増加し、5,907百万円となりました。各区分の主な増減要因は以下のとおりであります。

流動資産は、前連結会計年度末と比べて6百万円増加し、4,651百万円となりました。増加要因としては、現金及び預金159百万円の増加であります。減少要因としては、原材料及び貯蔵品67百万円、商品及び製品44百万円、受取手形及び売掛金39百万円の減少であります。

固定資産は、前連結会計年度末と比べて3百万円減少し、1,255百万円となりました。減少要因としては、建物及び構築物2百万円の減少であります。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて91百万円減少し、615百万円となりました。減少要因としては、電子記録債務52百万円、支払手形及び買掛金51百万円の減少であります。増加要因としては、その他(未払消費税等)15百万円の増加であります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて6百万円増加し、417百万円となりました。増加要因としては、役員退職慰労引当金5百万円、退職給付に係る負債1百万円の増加であります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて87百万円増加し、4,873百万円となりました。増加要因としては、親会社株主に帰属する中間純利益170百万円であります。減少要因としては、配当金60百万円であります。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ1.4%増加し、82.5%になりました。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末と比べ162百万円増加し、2,748百万円となりました。当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、238百万円となりました。収入の主な内訳は、税金等調整前中間純利益253百万円、棚卸資産の減少106百万円、売上債権の減少29百万円、未払消費税等の増加15百万円であります。支出の主な内訳は、仕入債務の減少103百万円、法人税等の支払額85百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、60百万円となりました。支出の主な内訳は、配当金の支払い60百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の予想につきましては、おおむね計画どおりに推移しており、現時点では、2025年5月13日付「2025年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」で公表いたしました数値からの変更はございません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,730,393	2,890,014
受取手形及び売掛金	527,495	487,791
電子記録債権	217,210	222,023
商品及び製品	174,058	129,462
仕掛品	228,510	229,707
原材料及び貯蔵品	724,488	657,346
その他	43,598	35,638
流動資産合計	4,645,755	4,651,985
固定資産		
有形固定資産		
土地	711,239	711,239
その他(純額)	149,765	145,041
有形固定資産合計	861,005	856,280
無形固定資産	10,482	9,691
投資その他の資産	386,790	389,046
固定資産合計	1,258,278	1,255,018
資産合計	5,904,033	5,907,004

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	158,338	106,816
電子記録債務	324,563	271,998
未払法人税等	91,448	90,296
賞与引当金	49,492	47,066
受注損失引当金	5,182	5,406
その他	77,804	94,025
流動負債合計	706,830	615,610
固定負債		
役員退職慰労引当金	228,430	234,152
退職給付に係る負債	179,165	181,164
その他	3,565	2,468
固定負債合計	411,161	417,786
負債合計	1,117,991	1,033,397
純資産の部		
株主資本		
資本金	143,010	143,010
資本剰余金	136,999	136,999
利益剰余金	4,429,432	4,539,416
自己株式	△26,045	△26,045
株主資本合計	4,683,396	4,793,381
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,498	7,112
為替換算調整勘定	97,146	73,113
その他の包括利益累計額合計	102,645	80,226
純資産合計	4,786,041	4,873,607
負債純資産合計	5,904,033	5,907,004

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	1,930,721	1,937,352
売上原価	1,528,317	1,499,026
売上総利益	402,404	438,325
販売費及び一般管理費	214,033	200,476
営業利益	188,371	237,848
営業外収益		
受取利息	1,595	1,376
受取配当金	25	256
為替差益	—	3,139
助成金収入	300	—
保険解約返戻金	3,937	8,060
その他	1,649	2,461
営業外収益合計	7,508	15,295
営業外費用		
支払利息	42	69
為替差損	6,529	—
営業外費用合計	6,571	69
経常利益	189,307	253,074
税金等調整前中間純利益	189,307	253,074
法人税、住民税及び事業税	64,294	83,805
法人税等調整額	390	△1,073
法人税等合計	64,684	82,732
中間純利益	124,623	170,342
親会社株主に帰属する中間純利益	124,623	170,342

中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	124,623	170,342
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	35	1,614
為替換算調整勘定	38,812	△24,033
その他の包括利益合計	38,848	△22,418
中間包括利益	163,471	147,923
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	163,471	147,923

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	189,307	253,074
減価償却費	8,675	7,070
賞与引当金の増減額(△は減少)	△3,012	△2,233
受注損失引当金の増減額(△は減少)	261	223
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	4,233	1,999
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	5,293	5,722
為替差損益(△は益)	13	△3
受取利息及び受取配当金	△1,621	△1,633
支払利息	42	69
売上債権の増減額(△は増加)	△32,033	29,423
棚卸資産の増減額(△は増加)	80,527	106,487
前払費用の増減額(△は増加)	12,559	11,750
長期前払費用の増減額(△は増加)	525	330
保険積立金の増減額(△は増加)	△3,591	88
その他の資産の増減額(△は増加)	2,488	△761
仕入債務の増減額(△は減少)	△138,738	△103,420
未払消費税等の増減額(△は減少)	△51,096	15,150
その他の負債の増減額(△は減少)	△12,738	△415
小計	61,098	322,923
利息及び配当金の受取額	1,252	1,169
利息の支払額	△42	△69
法人税等の支払額	△45,928	△85,164
営業活動によるキャッシュ・フロー	16,380	238,860
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,780	△876
貸付金の回収による収入	—	159
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,780	△717
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△57,339	△60,357
財務活動によるキャッシュ・フロー	△57,339	△60,357
現金及び現金同等物に係る換算差額	25,369	△15,442
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△17,370	162,341
現金及び現金同等物の期首残高	2,246,977	2,586,067
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,229,606	2,748,409

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社グループは、産業用・工業用コンピュータのバックプレーン、バスラック、システムシャーシの設計・製造・販売を行っており、単一セグメントであるため記載を省略しております。